

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	16-108	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Influence of Alcohol Consumption on the Risk of Systemic Lupus Erythematosus Among Women in the Nurses' Health Study Cohorts.</p> <p>Nurses' Health Study Cohorts の女性における、飲酒が全身性エリテマトーデス発症リスクに及ぼす影響</p>		
執筆者		
Barbhaiya M, Lu B, Sparks JA, Malspeis S, Chang SC, Karlson EW, Costenbader KH.		
掲載誌		
Arthritis Care Res (Hoboken). 2017 Mar;69(3):384-392. doi: 10.1002/acr.22945.		
キーワード		PMID
全身性エリテマトーデス、飲酒、女性		27273851
要 旨		
<p>目的： 中等量飲酒は抗炎症作用を有し、循環器疾患・関節リウマチのリスク低下に関連する。筆者らは Nurses' Health Study (NHS) コホートの女性において飲酒と全身性エリテマトーデス(SLE)の関連を調べた。</p> <p>方法： NHS(1980-2012)と NHS II(1989-2011)のうち、調査開始時点で膠原病に罹患しておらず飲酒の情報が得られた 204,055 名を対象として前向きコホート研究を行った。飲酒量は 2-4 年ごとの食物摂取頻度質問票から半定量的に推定した。SLE の発症は自己申告の後、カルテで確認した。交絡因子を調整した Cox 比例ハザードモデルにおいて、累積平均アルコール摂取量に基づく SLE 発症ハザード比(HRs)を、二つのコホート (NHS と NHS II) のメタ解析として推定した。アルコール飲料種類別の SLE リスクも検討した。</p> <p>結果： NHS で 125 例、NHS II で 119 例の SLE 発症を確認した。SLE 発症時の平均年齢±標準偏差はそれぞれ 55.8±9.5 歳、43.4±7.7 歳であった。非飲酒者に比べ、累積平均アルコール摂取量≥5g/日の飲酒者のメタ解析多変量調整 HR は 0.61(95%CI: 0.41-0.89)であった。アルコールへの曝露を SLE 診断の 4 年以上前に限定しても HR は同様 0.61(95%CI: 0.41-0.91)であった。週に 2 サービング以上のワインを飲む女性は、ワインを飲まない女性に比べ、有意にリスクが低かった 0.65(95%CI: 0.45-0.96)。</p> <p>結論： この大規模コホートにおいて、女性の飲酒(5g 以上または 0.5 杯/日以上)が SLE リスク低下と関連を示した。</p>		